

## グループワーク全体発表

### ◇グループワーク①

誰が参加するのがよいでしょうか。

本人、家族、ケアマネジャー、病院看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、福祉用具専門員、介護福祉士、包括支援センター職員、ソーシャルワーカー、デイケアスタッフ、かかりつけ医師、病院主治医、薬剤師、訪問看護師、歯科医師、歯科衛生士、町内会の方(民生委員や町内会長)

どのようなことに配慮しますか。

- ・家族と本人の意向を確認する。(本人は家に帰りたい、長男は心配なので施設、意見の調整をした方が良い)
- ・緊急時の確認をしておく。
- ・本人と家族が理解し安心できるような分かりやすい説明を心掛ける。
- ・カンファレンス前に本人と話し合い、必要な職種を検討する。
- ・意見交換しやすいような雰囲気づくり。
- ・住環境について話し合う。
- ・キーパーソンである妻の負担の軽減。
- ・本人の希望を尊重したいが、家族にかなり負担がかかる。家族の希望も聞き、折り合いをつけることも大事。
- ・コロナ禍における感染対策。(人数や県外からの参加者など)

## ◇グループワーク②

違う職種を体験してどのように感じましたか。

- ・本人を前にして意見を端的に言うことが難しかった。
- ・本人の気持ちや希望と、それぞれの職種から出された意見をどうまとめ、落とし込むのが難しい。
- ・専門職に囲まれた中で、本人やご家族が話しやすい環境作りを心掛けたり、カンファレンス中に発言を引き出せるよう専門職が関わっていくことが重要。
- ・カンファレンスや多職種の仕事内容のイメージができ、とても勉強になった。
- ・(本人役)皆さんと話し合いをすることで多くの人に支えられている、帰るためのサポートをしてもらっていることを頼もしいと感じた。集まることが今後の生活の支援の助けの第一歩になる。
- ・他の職種になると言葉がうまく出てこなくて難しかった。
- ・ケアマネは本人さんをサポートし続けていくので、今後の関わり方や発言内容など、考えることが多くあった。
- ・(本人家族役)人数が多くなるほど本音を言いづらい。
- ・(医療職役)本人が病院で出来ている事を家でも出来るのか。趣味を出来るようにするためのアプローチの仕方や言葉で伝えることが難しかった。
- ・発言内容に責任感を感じた。
- ・(ケアマネ役)病院と家族とのバランスをとることや、今後の見通しを本人家族にどうお伝えするかが難しい。
- ・話の順番、全体を見て調整していくことの難しさ。
- ・(家族役)不安を一つ一つ話していくことが今後の生活の安心につながると思った。

「退院前カンファレンスの流れ」についてどのように感じましたか。

- ・限られた時間内でどう進めるかが難しかった。
- ・専門用語を分かりやすい言葉に言い換えることが大切。
- ・専門職同士の話になると、本人家族が置き去りになりがち。どのような支援や話し合いを行っていくかが大切。
- ・基盤があったことと、司会役の看護師さんが何を話せば良いかを伝えて下さりスムーズに進行できた。
- ・プライバシーにかかわることは配慮しながら話した。
- ・本人、家族、専門職の意向のすり合わせが必要。